



広報進化論

特集

菊池市で広報が産声を上げたのは昭和32年5月。今から約60年前に旧旭志村で創刊された手書きの広報紙でした。3カ月後の昭和32年8月には、菊池町（当時）でも発行を開始。今ではフルカラーの広報紙ですが、当時は白黒印刷で新聞紙のようなタブロイド版でした。泗水町は昭和36年5月に創刊。七城町は当時の資料が残っており、残念ながら詳細は不明です。60年の歴史を市民と共に刻んで成長してきた菊池の広報紙。進化の過程を紐解き、読み手の思いに触れながら、その役割と魅力を再確認します。

広報紙の役割って、
なんだろう？

住むまちをもっと好きになるアプリ

i 広 報 紙

i 広報紙がもっと便利になってリニューアルされました！
この機会にダウンロードしてみませんか？



i 広報紙とは

いつでもどこでも広報紙を読むことができるようになるスマートフォン用無料アプリです。毎月広報紙が発行されるとお知らせが届きます。他の自治体の広報紙も読むことができます。

詳しくはi 広報紙のホームページをご覧ください。

Ⓜ http://ikouhoushi.jp/lp/kumamoto_kikuchi

QRコード↓



6月末の人の動き

人 口	対前月比
総人口：49,762 人	－ 10
菊池：24,834 人	－ 3
七城： 5,412 人	6
旭志： 4,724 人	－ 9
泗水：14,792 人	－ 4
男 性：23,903 人	－ 20
女 性：25,859 人	10
世 帯：18,768 世帯	26

年齢別人口

0 歳～ 14 歳：	6,542 人	13%
15 歳～ 64 歳：	27,885 人	57%
65 歳以上：	15,335 人	30%

今月の表紙

梅雨明け間近の7月5日、「最も高額なお米」としてギネス世界記録に認定された七城米が作られている七城町瀬戸口の圃場を撮影しました。整然と植えられた苗と苗の隙間に、夏の青空と白い雲が映り込んで、田んぼのキャンバスに夏空の水彩画が出来上がりました。



Contents ～今月号の掲載項目～

3 特集 広報進化論

ご当地どんぶり「菊池の福丼」食べ歩き！
菊池のどんぶりスタンプラリー

青少年育成推進員だより 輝けきくち
第24回参議院議員通常選挙
菊池市開票区開票結果

健康だより
便秘解消でお腹すっきり！
献血にご協力ください／歯ッピーキッズ

文芸きくち
図書だより

シリーズ菊池遺産／人権・同和教育シリーズ
菊池夢美術館情報／わいふ一番館だより
ふるさと緑の便り 菊池グリーンツーリズム
はい！こちら菊池市消費生活センターです！

22 情報つう

▼お知らせ
教育・公平委員会委員を紹介します／ブルーシートが飛ばないようにご注意ください／通貨や証券などの返還／児童扶養手当などの現況届を提出しましょう／やめて！不法焼却！／菊池市の放射線量／排水溝は河川とつながっています／8月の「税」の納期限8月31日※／ミツバチに対する農業危害防止／コイヘルペスウイルス病にご注意ください／ひとり親家庭等医療費助成制度／介護予防ミニ講座

▼募集
明るい選挙啓発作品コンクール作品募集／菊池市生涯スポーツ教室参加者募集／農地を貸したい人・借りたい人を募集しています／障がい者対象職業訓練受講生募集／熊本県職員警察官の採用試験／幸せさがし「合コン」～パート45／職業訓練コース／危険物取扱者試験／シルバー人材センター会員募集／宮崎県西米良村への市民交流団団員を募集します／チームトレ活ステーション参加者募集／フットパスで花と七城の文化財を巡ろう参加者募集／温泉を利用した健康づくりプログラム参加者募集／2016「肥後の水とみどりの愛護賞」募集／市役所本庁舎の宿直・日直職員（臨時的職員）募集

▼相談
こころの相談／震災・住宅・土地のトラブル無料相談会／認知症介護家族のつどい／納税相談夜間窓口を開設します／もの忘れ相談会／男女共同参画専門委員相談

▼講演・講習
第17回きくち市民フォーラム／認知症サポーター養成講座／市民講座「コミュニケーション・スキルアップ講座」／「認知症介護家族のつどい」「男性介護者のつどい」合同企画

▼イベント
第41回菊池まちづくり道場／菊少農つ子プロジェクト・2／きくち復興ワンラブ夏祭り／ヤマメのつかみ取り／第41回くまもと子育てトーク／すいし孔公園夏まつり・映画まつり／市民の広場／きくちあいすキャンペーン

31 国民年金情報
32 地域おこし協力隊を紹介します！／シリーズ文教の偉人
33 菊池っ子だより

34 TOPICS ～まちの話題～

37 デタポン／安心安全メールをご利用ください！
38 市長からのメッセージ／休日在宅当番医
39 ハッピーバースデー

【問い合わせ先】市長公室広報交流係 ☎ 0968(25)7252

地域おこし協力隊が 広報きくちをリサーチ！

7月1日から本市の地域おこし協力隊に就任した記者の伊藤亮さん。菊池の歴史と魅力を探るべく、まちの広報紙をリサーチしました。今回は伊藤さんの記者目線で、広報きくちの役割と魅力を探っていきます。



地域おこし協力隊として、神奈川から菊池市へ着任した伊藤亮です。広報スタッフの一員として、紙面の製作に携わっています。

昔から菊池に住んでいる人は、他の自治体が発行する広報に触れる機会は少ないかもしれません。私が今まで見てきた地元の広報の多くは、手堅いものが中心でした。表紙をめくると行政の情報が淡々と並び、言い方は悪いのですが積極的に読む気が無くなるような作りの紙面も多かったのです。

しかし広報きくちは、今まで私が見てきた数々の広報紙とは一線を画するものでした。表紙を彩る鮮やかな写真、全ページのフルカラー、そして表紙をめくると真っ先に目に飛び込んでくる「菊池人」や特集記事。今まで私が抱いていた広報紙のイメージを、良い意味で完全に裏切る内容だったのです。

どんな担当者がどんな思いで作っているのか。読者である市民はどのように感じているのか。協力隊として初の取材スタートです。

Profile ითო・რიო (下西寺) 神奈川県出身。昭和58年12月13日生まれ。前職はタウン誌の記者。旅が趣味で日本の市は1つを除き全て制覇。「菊池は人が親切で自然も豊か。良質な温泉も安く、とても過ごしやすいです」

伝わって初めて 広報紙が市民に届いたことになる。

市民の立場に立って

相手にしっかりと伝わるように書くことを心がけていました。たくさん情報を載せても、読んでもらう相手に伝わらなければ意味がありません。読み手に伝わって初めて、広報が市民に届いたことになると思っています。

お知らせなどは担当課から記事をもらいます。そこから市民の立場に立って、より分かりやすい表現になるように気を付けていました。

一步を踏み出すきっかけに

広報には市民の活動を手助

▼担当号
平成21年5月号
～平成22年4月号
佐藤寛美さん(市長公室)



ける役割があると思っています。例えば、記事を読んだ市民が講演会に行ってみたり、イベントに参加してみたり。広報が市民の新たな一步を踏み出すきっかけになればうれしいですね。こうした一人一人の行動が、まちづくりの力に変わっていきます。

スマートフォンなどが普及し、インターネットでいろんな情報を得られるようになりました。でも、機械が苦手な広報紙が大切な情報源になっている人はまだたくさんいます。紙だからこそ伝わる、ぬくもり、ってありますよね。それが伝わる広報紙を届けてほしいです。

歴代の広報担当者の思い

当時のエピソードや広報に対する思いなどを語ってもらいました。



広報で伝えるまちの誇り

平成20年9月号の特集「神様になった警察官」増田敬太郎物語」が印象に残っています。当時の泗水村出身の増田敬太郎さんが佐賀県で警察官となり、伝染病コレラから多くの住民を救ったものの、自らも病魔に襲われ殉職してしまつという話です。佐賀県では神様として奉られ、本市では子孫や市民団体がその偉業を後世へ伝えていることを紹介しました。

発刊後は多くの反響があり、私自身、そんな偉人がいたまちを誇らしく思い、住民の取り組みに感動しました。

誇りと感動を伝えられる 広報紙であってほしい。

▼担当号
平成17年合併創刊号～
平成21年4月号
磯田貴博さん(学校教育課)



感動が伝わる広報を

平成17年4月の合併創刊号の表紙には、合併した日に生まれた赤ちゃんを抱いた親子の写真が掲載しました。当時、赤ちゃんの両親が「この子が住みやすいまちになってほしい」と話していたのを覚えています。

あれから12年、その子は小学生になりました。立派に成長して「こんにちは」と元気にあいさつしてくれます。子どもたちが地域への愛着を育み、安全で安心して暮らせるまちとなるよう、これからも誇りと感動を伝えられる広報紙であってほしいです。

特集 バックナンバー

広報きくちの魅力の一つ。まちの課題や市民活動などを取り上げ、一緒に考えてもらうきっかけづくりにもなっている。



特集 「神様になった警察官 増田敬太郎物語」(平成20年9月号)

佐賀でコレラから街を救うも、若くして亡くなり、神社に祭られ神となった泗水町出身の警察官を取り上げた特集記事。



特集 「笑顔に会いたい」(平成22年2月号)

廃校の菊池東中を利用した「きくちふるさと水源交流館」。地域の交流の拠点として利用される今の姿を取り上げた。



特集 「手紙で伝える感謝の言葉 愛、燦々と」(平成25年9月号)

「おしどり夫婦の里」として、まちづくりをする菊池市。手紙や絵手紙が持つ魅力と人の絆について取り上げた。



特集 「菊池飛行場が伝えるもの ～菊池が戦場になった日～」(平成26年8月号)

かつて花房台地にあった旧陸軍菊池飛行場。戦争遺構や元兵士の証言などを紹介し、戦争と平和について考えた。



特集 「住んでよし、訪れてよし。きくち暮らし」(平成27年12月号)

地方の人口減少が問題視されるなか、移住希望者も増えている。市の移住・定住支援策や現在の課題を考えた。



特集 「心の壁を乗り越えるとき ～ハンセン病問題を考える～」(※菊池地域合同特集(平成28年3月号))

ハンセン病の療養所「菊池恵楓園」を取り上げ、今も残る偏見や差別などの現状を伝えた。菊池地域合同特集。

広報きくちの **ココ** が好き！

日ごろから広報きくちを活用している市民の皆さんに
紙面に対する思いを話してもらいました。



頑張ってる人を応援したくなります

表紙の写真がいつもきれいで、毎月届くのが待ち遠しいです。短歌や俳句が好きで文芸のコーナーも楽しく読んでいます。

菊池人や特集など、市民がたくさん登場しますよね。頑張っている人の話を読むと応援したくなるし、自分も頑張ろうという気持ちになります。これからも地域で頑張る人にスポットを当てた紙面を作り続けてほしいです。子どもの俳句や高齢者が登場するコーナーがあれば、もっと楽しい紙面になるのではないのでしょうか。



佐藤幾代さん（雪野）

いろんな地域や学校の情報をゲット

市民の活動を紹介する記事が好きです。他の地域や学校の情報を知ることができます。コンサートや講演会などの告知を多く見かけますが、若い世代の人も参加しやすいイベント情報が増えたらいいなと思いました。

広報紙の他には、市の公式フェイスブックページ「癒しの里 菊池」をよく見ています。最近は防災情報が役立ちました。写真で分かりやすく伝えてくれるので、行きたくなるイベントを発見できるのも魅力です。



菊池農業高校3年
中野佑紀さん（乙森北）

クーポンで交流の輪が広がりました

新装開店に合わせて広報紙にクーポン券を掲載。クーポン券を見てお店を知ったという人もいて、広報紙を読んでいる人の多さを実感しています。おかげさまで新規のお客さんが増えました。ここを地域住民の交流の場にしたいので、今後も広報紙を活用したいです。無料で効果もあるし、使わない手はありません。もっと掲載店が増えて地域に活気が出ればいいですね。

OPEN



カフェギャラリー＆コーヒー
「みちしるべ」
島津慶久さん（深川）

絵はがきで菊池のことを伝えています

菊池のきれいな写真が載っている絵はがきはお気に入りです。県外の親戚や友達に、菊池の特産物と一緒に送っています。手紙を送ると「きれいな風景の中で暮らしているんだね」と反応があります。雪景色のときは「熊本にも雪が降るんだ」と驚いていました。離れて暮らす縁者に、移住した場所がどんなまちか伝えたいと思っています。

要望としては、もっと子育て支援施設のイベント情報が充実すると助かります。



山田愛枝さん（雪野）



「昔の紙面を見ても楽しめる」。紐で過去の紙面を綴じて大事に保管している

単なる行政情報の発信じゃない

「最初に読んだときは『これが自治体の広報か』と驚きました。フルカラーで読みやすく、写真もきれいで目を引きます。デザインや字体などいい」と語ります。朝倉さんによると、広報きくちの魅力は「単なる行政情報の発信にとどまっていない点」。特集記事などの読み物が充実しているので、広報を通して菊池の知らない面を発見することも多いといいます。

記事を取り上げてほしい」とのこと。付録の絵はがきも「菊池の美しい風景が描かれていて魅力的。送ればまちのPRになりますし、相手も喜んでくれますよ」と微笑みます。

家の近くの側溝が壊れた際には、「情報つう」のコーナーを見て市へ連絡。二日後には担当者が訪れて対応し、約一カ月で復旧工事は完了したそうです。「迅速に対応してもらい助かりました。市民と広報がしっかりとつながっている気がして心強かったです」

毎号、広報きくちを紐で綴じて保存している朝倉さん。「毎月届くのが楽しみです。これからも市民目線で情報を発信し続けてください」



6年前に埼玉県から移住してきた朝倉修二さん（片角）。菊池市のことを知るために読み始めたのがきっかけで、愛読者になりました。

「広報は記録と魅力の宝庫。
毎号必ず保存しています」

探しています！

昔の広報紙

過去の広報紙をインターネットで閲覧できるデジタルアーカイブを進めています。古い年代は原本が失われた号もあるため、不足分を探しています。

下記の広報紙をお持ちの人は、ぜひ市長公室広報交流係までお知らせください。皆さんのご協力をよろしくお願いします。

【旧菊池市】

- 昭和33年3月、4月
- 昭和37年1月
- 昭和48年7月、8月
- 昭和49年1～2月、4月、10～11月
- 昭和50年1月、8月、9月
- 昭和51年2月
- 昭和54年7月15日、12月1日
- 昭和55年2月15日
- 昭和56年2月1日
- 昭和57年8月15日、10月15日
- 昭和58年5月1日、8月1日、11月15日
- 昭和59年3月15日、9月1日
- 昭和63年9月15日

【旧旭志村】

- 平成7年7月以前の全て
- 平成7年10～12月
- 平成8年2月、5月、7月、8月
- 平成9年1月、3～8月、10～12月
- 平成10年1月、3月、4月、8月、12月
- 平成11年10月、11月
- 平成17年3月

【旧泗水町】

- 141号(昭和54年3月～9月の間に発行)
- 平成2年6月

【旧七城町】

- 平成2年7月以前に発行された全ての号

問い合わせ先
市長公室広報交流係 ☎0968(25)7252

展示内容(予定)

●広報紙

1957年の創刊時から現在までをピックアップして展示します。実際に手に取って閲覧できます。※貴重なものは複製になります。

●写真

コンクール受賞作品を中心に展示します。

●「きくち今昔ぶらり旅」 デジタルアーカイブ体験

会場にあるパソコンで
画像・広報紙を集めた
過去の広報紙が検索できます。



●動画視聴体験

会場にあるタブレットで AR 動画が視聴できます。

●泉雄一さん作画表紙

かつて広報紙に作画を提供していた
泉さんの表紙作品を展示します。

●コンクールの賞状や盾

受賞した広報紙も展示します。



平成23年9月号(表紙)



平成26年8月号(表紙)

広報紙で振り返る菊池の歴史と魅力

菊池広報展 開催

8月2日(火)－28日(日)

会場: 菊池夢美術館

本市初の広報展を開催します。

市民の皆さんに支えられて60年。広報きくちは、さまざまな人々の思いと共に歴史を歩んできました。まちの出来事を記録しながら時代の流れに乗って進化し続けています。

過去の広報紙に触れることで、知らなかった菊池の歴史や、思わぬ懐かしい発見があるかもしれません。皆さんのお越しをお待ちしています。



平成26年9月号(6・7ページ)



取材を通して、市民の皆さんから
広報きくちに対してたくさんの方の
励ましとご意見をいただきました。市
民と広報紙の距離が近く、生活に根付
いていることに驚きました。

私は神奈川でタウン誌の記者として
働いていました。当時の同僚たちに広
報きくちを見せたところ、「特集記事が
面白い」「写真がすごい。作り手のこ
だわりが見える」などの声が返ってき
ました。菊池市民にとっては当たり前か
もしれませんが、非常に内容が充実し
ていて魅力的な広報紙だと思います。

近年はインターネットが発展し、誰
もが簡単に情報を得られる時代にな
りました。そんななか、広報紙で届く情
報を心待ちにしている市民が多くいる
ことに気がきました。

これからは私もスタッフの一人とし
て、広報紙づくりに携わっていきます。
まちの隠れた魅力を発掘し、たくさん
の人に元気になってもらえるような情
報を発信していきたいです。

これからも広報きくちを
よろしくお願いします
菊池広報スタッフ一同



熊本県広報コンクール 主な受賞歴	
平成2年	特選(広報紙市部) ※旧菊池市
平成3年	特選(広報紙市部) ※旧菊池市
平成6年	特選(広報紙市部) ※旧菊池市
平成12年	特選(広報紙市部) ※旧菊池市
平成16年	特選(広報紙市部) ※旧菊池市
平成22年	特選(広報紙市部) ※旧菊池市
平成23年	特選(広報紙市部) ※旧菊池市
平成24年	特選(広報紙市部) ※旧菊池市
平成25年	特選(広報紙市部) ※旧菊池市
平成26年	特選(広報紙市部) ※旧菊池市
平成27年	特選(広報紙市部) ※旧菊池市
平成28年	特選(広報紙市部) ※旧菊池市

全国広報コンクール 主な受賞歴	
平成24年	入選(二枚写真の部)
平成25年	1席(組み写真の部) 全国2位
平成26年	入選(広報紙市部)
平成27年	入選(組み写真の部)
平成28年	入選(広報企画の部)
平成29年	入選(広報紙市部)
平成30年	入選(広報紙市部)
平成31年	入選(広報紙市部)
平成32年	入選(広報紙市部)
平成33年	入選(広報紙市部)
平成34年	入選(広報紙市部)
平成35年	入選(広報紙市部)
平成36年	入選(広報紙市部)
平成37年	入選(広報紙市部)
平成38年	入選(広報紙市部)
平成39年	入選(広報紙市部)
平成40年	入選(広報紙市部)
平成41年	入選(広報紙市部)
平成42年	入選(広報紙市部)
平成43年	入選(広報紙市部)
平成44年	入選(広報紙市部)
平成45年	入選(広報紙市部)
平成46年	入選(広報紙市部)
平成47年	入選(広報紙市部)
平成48年	入選(広報紙市部)
平成49年	入選(広報紙市部)
平成50年	入選(広報紙市部)
平成51年	入選(広報紙市部)
平成52年	入選(広報紙市部)
平成53年	入選(広報紙市部)
平成54年	入選(広報紙市部)
平成55年	入選(広報紙市部)
平成56年	入選(広報紙市部)
平成57年	入選(広報紙市部)
平成58年	入選(広報紙市部)
平成59年	入選(広報紙市部)
平成60年	入選(広報紙市部)
平成61年	入選(広報紙市部)
平成62年	入選(広報紙市部)
平成63年	入選(広報紙市部)
平成64年	入選(広報紙市部)
平成65年	入選(広報紙市部)
平成66年	入選(広報紙市部)
平成67年	入選(広報紙市部)
平成68年	入選(広報紙市部)
平成69年	入選(広報紙市部)
平成70年	入選(広報紙市部)
平成71年	入選(広報紙市部)
平成72年	入選(広報紙市部)
平成73年	入選(広報紙市部)
平成74年	入選(広報紙市部)
平成75年	入選(広報紙市部)
平成76年	入選(広報紙市部)
平成77年	入選(広報紙市部)
平成78年	入選(広報紙市部)
平成79年	入選(広報紙市部)
平成80年	入選(広報紙市部)
平成81年	入選(広報紙市部)
平成82年	入選(広報紙市部)
平成83年	入選(広報紙市部)
平成84年	入選(広報紙市部)
平成85年	入選(広報紙市部)
平成86年	入選(広報紙市部)
平成87年	入選(広報紙市部)
平成88年	入選(広報紙市部)
平成89年	入選(広報紙市部)
平成90年	入選(広報紙市部)
平成91年	入選(広報紙市部)
平成92年	入選(広報紙市部)
平成93年	入選(広報紙市部)
平成94年	入選(広報紙市部)
平成95年	入選(広報紙市部)
平成96年	入選(広報紙市部)
平成97年	入選(広報紙市部)
平成98年	入選(広報紙市部)
平成99年	入選(広報紙市部)
平成100年	入選(広報紙市部)